

令和7年度

運営に関する計画

大阪市立阪南小学校

令和7年度 学校経営方針

大阪市立阪南小学校

学校教育目標

豊かな心をもち、たくましく生きる子どもの育成

めざす子ども像

よく考える子 心や体をきたえる子 考えを実行にうつす子

目指す学校の姿

「五方良し」(児童、保護者、地域、教職員、未来社会)

- 児童が「通いたい」と思う学校
- 保護者が「通わせたい」と思う学校
- 地域の方に「協力したい」と思ってもらえる学校
- 教職員が働きやすい学校
- よりよい未来を創る学校

目指す教育【学校経営の重点】

「授業を通して、自ら学び、自ら運動に親しむ児童を育てる」

具現化への手立て

○安全・安心な教育の推進

- ・気持ちの良いあいさつの飛び交う学校
- ・廊下の右側歩行が守られる学校
- ・まさかを想定した環境整備(児童の行動を都合よく想定しない)
・温かい学級づくり、違いを認め合う集団の育成(やさしさの伝わる言葉使い)
- ・授業で、学校行事で、児童の自己肯定感を育てる(認められる、褒められる経験の積み重ね)
- ・いじめ、問題行動は初期対応がすべて。迅速な報告に基づき組織的に対応する→丁寧な事実確認と公平な指導
- ・情報モラル教育、メディアリテラシー教育の充実

○未来を切り拓く学力・体力の向上

- ・研究授業等による授業力の向上
- ・研究部員による示範授業、研修授業の実施
- ・教科横断的な学び(各教科の学習で身に着けた学力を活用する学び)の充実 →地域学習、キャリア教育
- ・自主学習の励行
- ・授業後に、自分で調べてみたくなるような授業における仕掛けの工夫
- ・学習成果(自主学習)の発表の場の工夫
- ・本物との出会い、実体験の重視(校外学習、ゲストティーチャーの工夫)
- ・体育学習における「できた」の積み重ねによる運動に対する意欲の向上
- ・体力、運動能力を高める学校挙げての重点的な取組み
- ・休み時間の確保(外遊びの奨励)

○学びを支える教育環境の充実

- ・教室の整理整頓
- ・ごみ、ほこりの落ちていない学校
- ・ICTの効果的な活用
- ・気兼ねなく定刻で帰ることができる学校
- ・校務分掌の細分化と負担の平準化
- ・教職員の仲が良い学校(やさしさの伝わる言葉遣い)

児童にとって教職員は大きな環境要因

教職員の笑顔が子どもを笑顔にします

教職員みんなで支え合いましょう。

人間関係のストレスのない職場にしましょう。悪口厳禁。

教職員同士もやさしさの伝わる言葉遣いを心がけましょう。

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- いじめへの認識を深め、いじめの未然防止・早期発見の取り組みを進めることで、「いじめ（暴力をふくむ）は何があってもしない」という意識を高めることができた。しかし、意識は高まっていても、行動が伴っていない場合がある。
友達や自分の「よいところさがし」をこれまで数年間全校で取り組みを行っていることもあり、児童は友だちや自分の良いところを見つけ、言葉で伝えることが自然とできるようになっている。児童一人ひとりが自分をかけがえのない存在であることに気づける取り組みを今後も継続して取り組む必要がある。
- 不登校または不登校傾向な児童について実態把握を行い、教職員間で情報を共有しながら、スクールカウンセラーや子どもサポートネット等の連携しながら支援を行ってきた。家庭との連絡も定期的に取り合い、可能な限り児童に合わせて登校しやすい状況を整えるために繋がりを築き、全児童の居場所がある学校運営を目指していく。
- これまでの学力向上の取り組みにおいて、基礎・基本的な知識・技能の定着が図られてきている。今後は、わかる喜び、できる喜び感じられる授業を通して、「考える楽しさを感じられる授業」を目指して、友だちと共に対話しながら学ぶ楽しさを感じられる授業実践に取り組んでいく。
- 休憩時間の運動場の使用時間を学年でローテーションを組み、安全に配慮して場を設定し、使用できる用具・器具を整備し、児童の運動する機会を確保するよう継続して環境や時間を整える。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85.7% 以上にする。【前年度実績 85.6%】
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87.3% 以上にする。【前年度実績 87.2%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 70.5% 以上にする。【前年度実績 70.4%】

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間の授業日の 50% 以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事 ICT 活用が適さない日数を除く）【前年度実績 35.7%】
- 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 56.4% にする。【前年度実績 43.3%】

※基準 1 次のア及びイの基準を満たすこと

ア 1 か月の時間外勤務時間が 45 時間を超えないようにすること

イ 1 年間の時間外勤務時間が 360 時間を超えないようにすること

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85.7%以上にする。【前年度実績 85.6%】
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87.3%以上にする。【前年度実績 87.2%】

【学校園の年度目標】

- 令和 6 年度末の児童アンケートにおける「いじめ（暴力行為をふくむ）は何があってもしない」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える児童の割合を 95%以上にする。【前年度実績 98.8%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 70.5%以上にする。【前年度実績 70.4%】

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間の授業日の 50 %以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事 ICT 活用が適さない日数を除く）【前年度実績 35.7%】
- 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 56.4%にする。【前年度実績 43.3%】

※基準 1 次のア及びイの基準を満たすこと

- ア 1 か月の時間外勤務時間が 45 時間を超えないようにすること
- イ 1 年間の時間外勤務時間が 360 時間を超えないようにすること

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立阪南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85.7%以上にする。【前年度実績85.6%】 ○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87.3%以上にする。【前年度実績87.2%】	
学校園の年度目標 ○令和7年度末の児童アンケートにおける「いじめ（暴力行為をふくむ）は何があつてもしない」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える児童の割合を95%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 「いじめについて考える日」や年3回の「いじめアンケート」の実施等により、いじめへの認識を深め、いじめの未然防止・早期発見の取り組みを進める。	
指標 ・道徳の学習もふくめ、いじめについて年3回以上、学級全体で学習する。 ・児童アンケートにおける「いじめ（暴力をふくむ）は何があつてもしない」の項目について、「当てはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を95%以上に維持する。 ・いじめアンケートにおける「あなたは今のクラスになって、いじめられたことはありますか。」の項目について、「ある」と回答する児童の人数を前年度の1、2学期と比べて減少させる。	
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 様々な場面で友だちや自分の「よいところさがし」を行うとともに、優しさが伝わる言葉遣いをすることで、学級・学年等の仲間づくりを進めていく。	
指標 児童アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」「友だちの気持ちを考えて優しい声かけができていますか。」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を87.3%以上に維持する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立阪南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】	
○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 ○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70.5%以上にする。【前年度実績70.4%】	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 算数科を中心に基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る。	
指標 学期ごとの評価問題の平均正答率が70%以下の児童の総数の割合を、同一母集団において、前年度末より減少させる。	
取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 児童が運動に親しむ機会や場の工夫に取り組むことで、運動に関する意識の向上を図る。	
指標 令和7年度の児童アンケートにおける「運動や体を動かすことが好きだ」「休み時間は外で遊んでいる（遊ぼうと思っている）」の項目について、肯定的に答える児童の割合を前期と同じ割合に維持、もしくは増加させる。	
取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 全学年、体育科学習時に体力を高める運動を取り入れることで、児童の体力の向上を図る。	
指標 4月と12月の年間2回、シャトルランの記録を測定する。学年平均値を1回目の記録よりも向上させる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立阪南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間の授業日の50%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事ICT活用が適さない日数を除く）【前年度実績35.7%】</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を56.4%にする。【前年度実績43.3%】</p> <p>※基準1 次のア及びイの基準を満たすこと ア 1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないようにすること イ 1年間の時間外勤務時間が360時間を超えないようにすること</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 デジタル教科書（算数・英語）や、タブレットドリルなどのICTの環境を整え、児童が学習者用端末を活用しやすくするとともに、児童が入力したこころの天気を日々の心情の変容等の児童理解に活かせるようにする。	
指標 学習者用端末の使用状況調査における、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数を年間授業日の50%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 会議のもち方（回数、方法、内容）を工夫すること、年間授業時数の適正化を図り、週配当時間の見直しを行うことで放課後の時間の確保に努める。通知表の所見欄の内容や指導要録の表現を見直すことなどさらなる業務の精選に取り組むとともに校務分掌の細分化や分担方法の工夫を図り働き方改革を推進していく。	
指標 定時退勤日は18時までに退勤する人を職員全体の90%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	